



## お茶のある 心地良い暮らしを

茶葉は少量サイズを揃えているので、色々と試しながらお気に入りの探されていますよ。



instagramで紹介中の“今朝の一杯”

### 確かな情報と楽しみ方を伝えたい

現在、徳地のお茶を使ったオリジナル商品づくりに取り組んでいます。今後は、イベント出店や異業種コラボもしていきたいですね。今、緑茶は健康に良いと海外で人気なんです。元々薬として伝わったお茶は良い成分がいっぱいです。飲む以外にも食べたり、香りや茶器を楽しんだり、お菓子やお花など組み合わせを楽しむこともできます。これからも日本茶インストラクターとして確かな情報を伝えながら、日本茶と一緒に過ごす心地よい時間を多くの方に体験していただけるよう頑張っていきます。



※ あきないのまち支援補助金とは  
中心商店街（山口市商店街連合会に加盟する商店街）の指定区域にある空き店舗に新規出店される方を対象に、店舗改装費等の1/2を補助するものです（限度額有り）。



### 日本茶専門店八十八

代表者：吉光 虹太  
所在地：山口市米屋町2-39

TEL：050-5316-1213  
営業時間：10:00～19:00  
HP：[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/hachaya88](https://peraichi.com/landing_pages/view/hachaya88)

定休日：水曜日  
事業内容：日本茶小売、喫茶

### オーストラリアでの経験

飲物に特にこだわりを持っていなかった大学時代、私は農業研修でオーストラリアを訪れました。オーストラリアはイギリスの紅茶文化を受け継いでいて、お世話になった農家さんも作業の合間を縫って紅茶タイムを楽しんでいました。アーリーティやアフタヌーンティ・ナイトティなど、一日の中でホッと出来る時間は私にとって心地良く、お茶と暮らす生活の魅力に引き込まれてきました。

### 日本の魅力、日本茶の魅力

外国に行くと皆さん感じることもかもしれませんが、私ももっと自国の魅力や文化について知る必要があると思いました。日本に戻り、同じお茶を楽しむならと興味を持ったのが「日本茶」です。実家を離れると急須でお茶を入れる機会もなく、当時友人のほとんどが急須を持っていない状況でした。私は全国のお茶の産地を巡り、味や香り以外にも茶器など日本茶の面白さにハマっていききました。



外観

### 日本茶を作る側へ

卒業後は、日本一の茶処である静岡県の製茶問屋に就職。そこでは、生葉を一次加工（蒸し・揉み）した「荒茶」を選別・焙煎ブレンド・包装を行う仕上げ工程を行っていました。小さい会社だったので様々な経験ができ、日本茶インストラクターの資格も取得しました。5年間勤めた頃、小売や販売の事を学びたいと思い東京へ。日本茶だけでなく他業種で働いた事も起業に役立つ良い経験となりました。



見るだけでも楽しい店内

### 中心商店街から情報発信

5年後、東京から山口に戻り、日本茶の美味しさを山口の人にも味わって欲しいと思い平成28年10月に起業。出店場所は地元周南市と山口市で悩みましたが、山口市中心商店街は市内・市外の人が行き交い、情報発信に適していると思い決めました。商工会議所に相談して、あきないのまち支援補助金（※）が利用できたことも大きかったですね。現在は、お茶やお菓子等の小売以外にワークショップを開催しています。開業して1年、お客様の9割が女性です。